

三井ショッピングパーク くららテラス川口

三井不動産(株)(東京都中央区)は5月31日、埼玉県川口市に「三井ショッピングパーク くららテラス川口」をオープンした。旧「くらら川口」の建物をリニューアルしたライフスタイル型商業施設で、JR川口駅前の好立地に出店し、店舗は全94店を展開した。外装は既存の建物造作を活かした



旧「くらら川口」を改装して誕生した「三井ショッピングパーク くららテラス川口」の外観

開店フラッシュ

計と施工は大成建設(株)、環境デザインは(株)スペースが担当し、運営・管理は三井不動産商業マネジメント(株)が担う。

店舗で目立つのは全30店で構成し、食物販やフードコートなど日常の食を支える、地下1階の「川口 FOOD MARKET」だ。ゾーンは、惣菜や和菓子、ベーカーリー、グロスアリーナ

みその「ゴンチャ」、SM・生鮮には川口市初の「成城石井」

「魚の北辰」北辰鮎／お食事処 北辰鮎、食品ゾーンには新業態の「あおやまベーカーリー」

「日本う



URBAN RESEARCH Storeは3階に出店した

ど利便性も考慮したテナント揃えとした印象だ。

サービステナントは「神田外語キッズクラブ」「K-POP Chor eo」「そろばん教室88くん」「ネイス体操教室」といった、教室・スクー

あたかもライフスタイル型商業施設を標榜するくららテラスならでの取り組みだろう。

加えて、屋上階にはシェアオフィス「ワークスタイリング」、ビアガーデン「WILDBEAACH」を展開した。WILDBEAACHは、旧「くらら川口」時代の屋上ビアガーデンの面影を残しつつ、「非日常の集える駅前リゾート」をテーマに

百貨店を改装、全94店集積

年間売り上げ約170億円目指す

テラス川口から約2kmの場所には08年11月にオープンした「ララガーデン川口」があり、同2施設を通じて川口エリアの経済圏の活性化に寄与したい考え。

くららテラス川口の敷地は約8900㎡、施設規模はSRC、RC造り地下2階地上11階建て延べ約6万8800㎡、店舗面積約2万1500㎡で、店舗は埼玉県初8店を含む全94店を集積。設

どを集めた食品ゾーン、ファストフードからご飯もの、スイーツまでを提供するフードコート、スーパーマーケット(SM)に加え、生鮮三品も扱うSM・生鮮ゾーンとし、日常使いに適したフロアとなっている。

フードコートには埼玉県初の「鶴丸うどん本舗」、川口市初の「札幌

まいもの館」などが出店しており、ほかにも埼玉県初、ショッピングセンター初、川口市初など目新しさも追求した。

地上階はアパレル、生活雑貨、家電、アミューズメントなど、ダイリーユースからセレクトショップまで、幅広い物販・サービス店を揃えた。ファッションでは「UNI

TED ARROWS green label relaxing「URBAN RESEARCH Store」といった王道系をはじめ、「ONWARD CROSSET SEL ECT」など高感度ファッション店なども集めた。

また、子ども向けには「西松屋」が出店するな

リリニューアルし、カフェも併設した約150㎡のビーチが広がるLAテイストに生まれ変わった。くららテラス川口の特徴の一つである建物デザインでは、約30年にわたって旧「くらら川口」で親しまれてきた上質な大理石、大時計などの価値あるものは魅力を損なわないよう残した。一方、傷んでいた大理石はベンチにリメイクしたり、メーンエントランス横の大時計のからくりも形を変えて再び動き出すなど、変化させながら蘇らせた。

建物西面の外壁には、県内最大の9・6m×16・8m(約762インチ)の大型LEDビジョンを設置し、地域の情報発信拠点の機能を担う。

年間売り上げは約170億円と、くららテラスシリーズでトップクラスの売り上げを目指す。また、ララガーデン川口と合わせて年間売り上げ約300億円を目標とし、川口エリアを盛り上げる。

